

整備内容及び利用状況

待避所整備

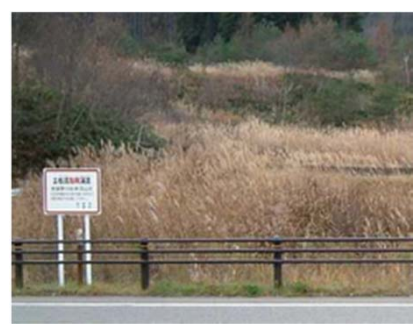


施工前



施工後

案内標識



施工前



施工後

利用状況

・震災により観光客は減少しましたが、徐々に来訪者も年々回復しており、本事業は大内宿周辺地域の振興に寄与しています。

- 大内宿入込客
- H17 : 864,649人
 - H18 : 911,003人
 - H19 : 1,029,150人
 - H20 : 1,079,709人
 - H21 : 1,159,100人
 - H22 : 1,009,904人
 - H23 : 584,864人
 - H24 : 791,548人
 - H25 : 953,420人

関係機関

- 福島県 南会津建設事務所 企画調査課
- 下郷町事業課建設班
- 大内宿行政財産区

TEL : 0241-62-5322
TEL : 0241-69-1177

大内宿から会津若松方面へのスムーズな誘導 大内宿へのアクセス改善 南会津-5

大内宿周辺地区

下郷町

南会津建設事務所
計画期間: H16~H17/H19~H23
/H25~26

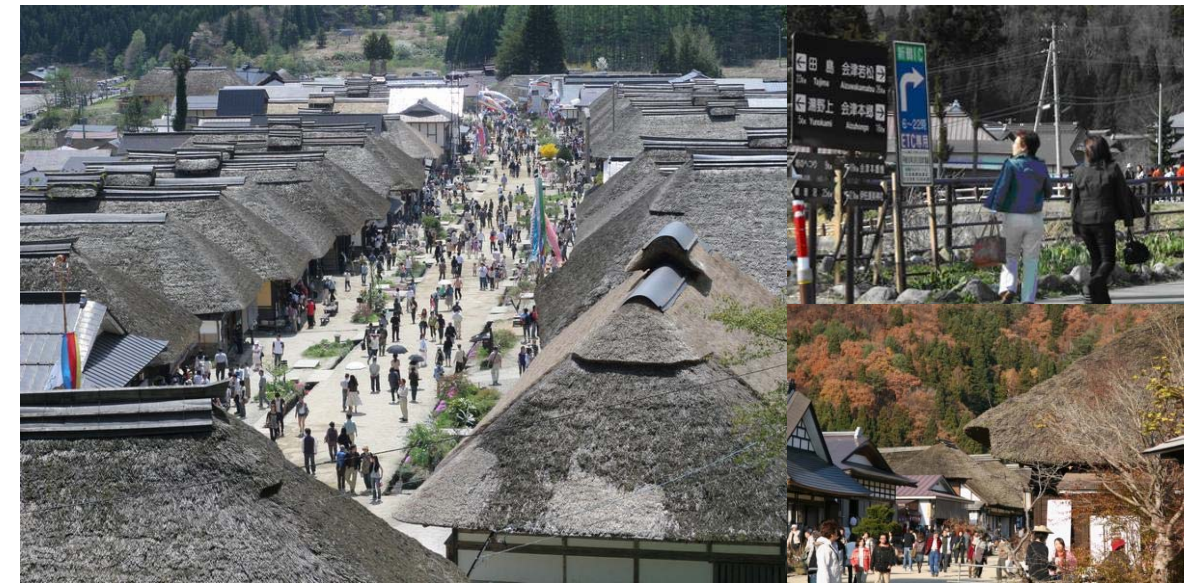
地域づくりの方針

観光客や地域住民の通行を確保するとともに、隣接する観光施設へ円滑に誘導することで「大内宿」という地域資源を活かし大内宿及び周辺地区の地域振興を図る。

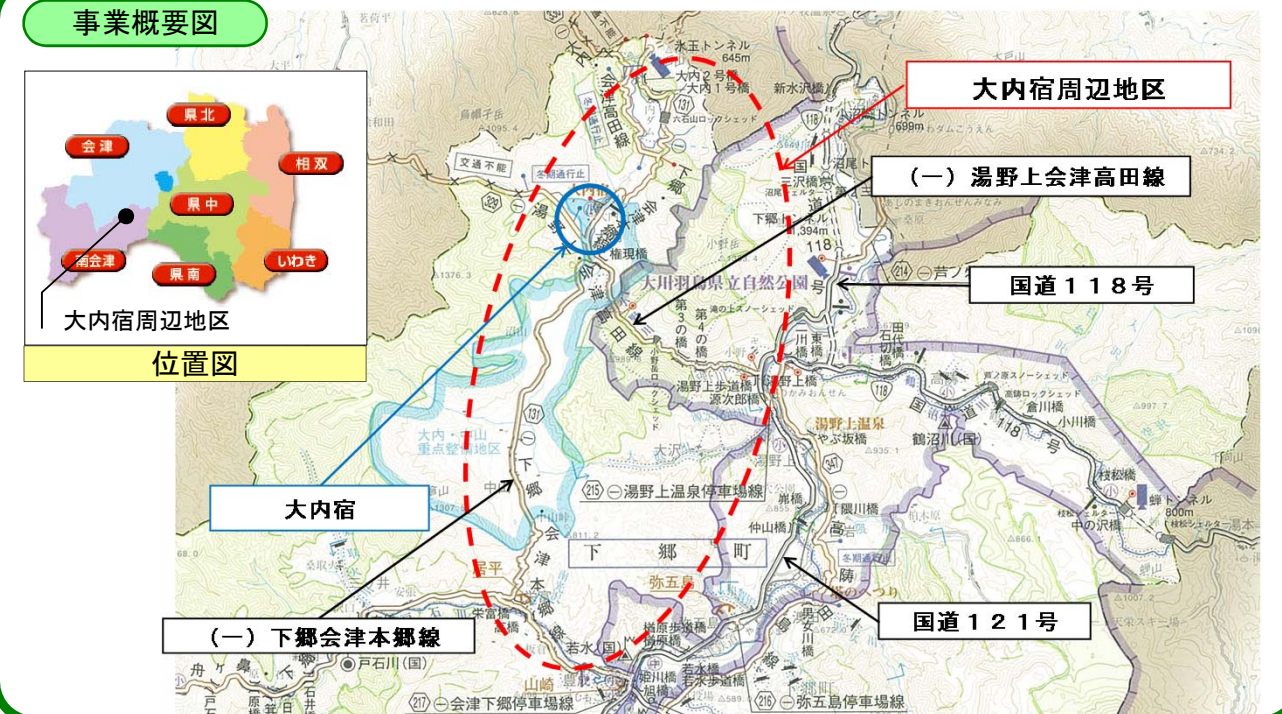
主な事業内容

大内宿から氷玉峠を越えて会津若松方面へ誘導するため、案内標識の設置及び狭小区間の道路拡幅を行いました。

また、渋滞を緩和するため、歩道と大型バス乗降場を設置しています。



事業概要図



地域の現状

南会津地方随一の観光地で年間100万人ほどの集客を誇っています。「大内宿こぶしライン」の誘導により、大内宿へのアクセスルートは分散されているものの、観光シーズンには県道湯野上会津高田線や国道121号を中心として大渋滞が発生し、観光客だけでなく、住民の日常生活や消防・救急救命車両の通行に支障を来しています。
このため、地元自治体を中心とした渋滞対策に係る協議会等組織を設立し、関係機関が連携を図り、渋滞対策に取り組むことが重要です。

地域づくりのあゆみ

- 平成16年
 - ワークショップにて、県に道路付属物の美装化、標識の整備を意見。
 - (一)湯ノ上会津高田線にビューポイント整備。橋梁高欄などの美装化を実施。
- 平成17年
 - 大内宿駐車場前に案内標識を設置。・高欄及び落石防護柵の塗装。
 - 案内標識の維持管理について地元行政区と管理協定を締結。
- 平成19年
 - 大内宿こぶしライン（一）下郷会津本郷線）に路側式案内標識を設置。
- 平成20年
 - 大内宿周辺地区渋滞対策協議会を設立し、実施。
- 平成21年
 - 下郷町大字湯野上地内等にライブカメラを設置。
 - 大内宿周辺地区渋滞対策協議会を実施。
- 平成22年
 - 下郷町大字大内地内において道路拡幅を設置。
 - 大内宿周辺地区渋滞対策協議会を実施。
- 平成23年
 - 下郷町大字大内地内において道路拡幅を設置。
 - 大内宿周辺地区渋滞対策協議会作業部会を実施。
- 平成24年～
 - 大内宿周辺地区渋滞対策協議会作業部会を実施。
- 平成26年
 - 下郷町大字大内地内において歩道及び大型バス乗降場を設置。

地域づくりを進めてきた中での課題及び解決策

震災以降、年々増加する来訪者によって、県道湯ノ上会津高田線及び国道121号の渋滞が著しく、生活交通や緊急車両の通行に支障をきたしていることから、関係機関が連携したさらなる渋滞対策が必要となっています。

実施した感想

- 駐車場付近で道を尋ねる観光客が多く、渋滞の原因の一つでしたが、大内宿駐車場に案内標識が設置されたことで、それらの混雑が緩和されました。
- 会津若松インターチェンジから県道下郷・会津本郷線沿いに、大内宿こぶしラインの案内標識が設置されたため、観光客の誘導がスムーズになりました。
- ライブカメラが設置されたことで、来訪客が渋滞状況を入手できるようになり、交通渋滞の緩和や迂回路の利用につながりました。
- 県道下郷会津本郷線の道路拡幅により来訪者の安全な交通につながりました。

元気づくりの立役者たち

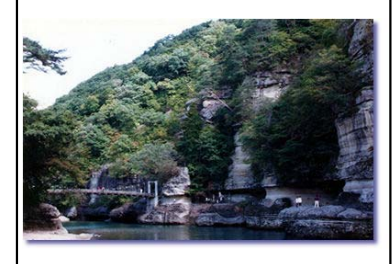
小野川の眺望



会津美里町との交流連携



塔のへつり



地域の課題・今後の展望

大型バスの乗降場整備や歩道の設置及び円滑な交通誘導により、渋滞の軽減を図るほか、その効果を検証し、今後の対策を検討していく必要があります。

事業の効果

■地場名産品の増販

大内宿と会津三里町（本郷地区）の連携交流の一環として、大内宿内「こめや」において、会津美里町（本郷地区）の名産品である「そばおやき」を販売し、観光客から好評を得ています。

